

長崎南町自治会館建設計画に当たって

令和5年4月21日
長崎南町自治会館建設委員会

この建設計画を策定するに当たって建設委員会が拠り所とした基本的な考え方は以下の通りです。

- 1、自分たちの共有財産として、その利用価値を次世代に引き継いで行けるものにする。
- 2、集会所としてだけでなく、住民のたまり場として利用価値の高い場所にする。
- 3、高齢者や子供にとっても使いやすい場所、入りやすい場所にする。
- 4、居住快適性と機能性の両立を心がける。
- 5、長崎南町の自治会館として胸を張れるセンスのいい建物にする。
- 6、最小限必要なスペースとして多目的広間、事務室、調理室、子供も使える部屋（図書室など）、トイレ（男女別）を確保する。
- 7、建物に入るところから内部に至るすべてを恒久的なバリアフリーにする。
- 8、省エネ設計を心がける。
- 9、座卓ではなく椅子使用を基本とする建物にする。
- 10、令和7年度の時点で、建て替えができない場合は、その時点で申請のしなおしになるので、令和7年中に行いたい。
- 11、土足式の利用形態は導入しない。
- 12、低コストを心がける。
- 13、広さの目途は約30坪(100平米)、建築費の目途は約2,000万円。ローンを活用する。
- 14、昨年10月に実施した自治会館建て替えアンケート調査の結果からも、夏祭り等のイベントを3年ぐらい中止とし、建て替え資金として積み立てる。
- 15、その他
総工費をやすくするため、建設費の比較ができる、正確な見積もりを出せる工務店をさがす。素人だけでいくら議論をしても決め手に欠け、まとまらない場合には一級建築士の専門知識に基づいたリードを進めて、建設会社に発注するすることも視野にいれる。

以上